

アートマネジメント人材育成講座

SMAART

Saga Mobile Academy of ART 佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート
佐賀の食、文化、歴史の地域資源を発見し、アートで発信するプロジェクト

フォーラム

茶・藝・道

— 売茶翁と現代ストリート文化 —

本フォーラムでは諸分野の専門家をお招きして、
売茶翁の活動を様々な視点から再検証しつつ、
その思想を現代のアートプロジェクトに
どのように繋げうるかについて探ります。

売茶翁に学ぶ 人を惹きつける力。



日程: 2018年 **8月18日** (土) 13:30~17:00 (受付開始13:00~)

会場: 佐賀大学本庄キャンパス 理工学部6号館1F 大講義室

定員: 150名 (定員になり次第締め切らせていただきます) 参加料: **無料** (※要申し込み) 申込開始: 6月25日(月) 10時より

主催: 佐賀大学芸術地域デザイン学部

協力: 佐賀県 公益財団法人 佐賀市文化振興財団 文化経済学会(日本)九州部会

後援: 佐賀新聞社 サガテレビ 西日本新聞社

参加者募集



「佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート」(略称SMAART)は佐賀大学芸術地域デザイン学部が取り組んでいるアートマネジメント人材育成講座です。2017~19年度にかけて佐賀の地域資源やアートマネジメントについて学ぶほか、佐賀の芸術文化に関わるヒトや情報が集うプラットフォームを整えつつ、佐賀ゆかりの禅僧・売茶翁にちなんだアートプロジェクトに取り組みます。

売茶翁とは
佐賀ゆかりの江戸期の禅僧、売茶翁(1675-1763)は肥前蓮池(佐賀市)に生まれ、57歳まで黄檗宗・龍津寺の禅僧として仕えました。61歳のとき京都鴨川のほとりに簡素な路上喫茶「通仙亭」を開き、身分の貴賤に関わらず人々に煎茶を通して禅の教えを説きました。その姿に伊藤若冲、池大雅、与謝蕪村ら当時の文人達も敬意を寄せています。



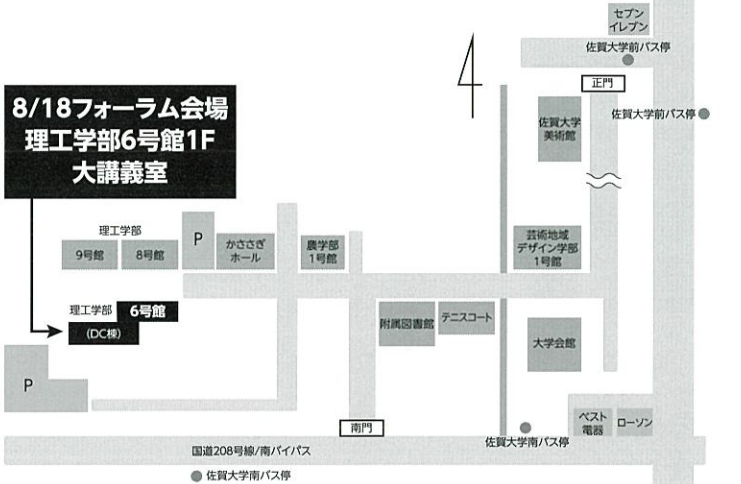
錦織亮介 (福岡市美術館館長)
「黄檗宗と美術」
 1943年生。北九州市立大学名誉教授。仏教絵画を学ぶが、特に江戸時代に長崎にもたらされた黄檗宗にかかわる絵画に興味をもち調べている。長崎にもたらされた中国明清の絵画とその影響と言ってもよいかもしれない。

狩野博幸 (美術史家)
「美術史における売茶翁の足跡」
 1947年福岡県生。九州大学大学院文学研究科博士課程中退。帝塚山大学助教授を経て京都国立博物館研究官。美術室長・京都文化資料研究センター長、同志社大学文化情報学部教授を経て現在に至る。著者に『伊藤若冲大全』、『若冲』、『江戸絵画の不都合な真実』ほか。

木村勝彦 (長崎国際大学副学長)
「禅の教えと茶の哲学」
 1957年長崎市長。筑波大学第一学群人文文学類哲学専攻卒業。同大学院哲学・思想研究科宗教学・比較思想学専攻修了。博士(文学)。専門分野は宗教哲学、宗教思想史。平戸松浦藩に継承されてきた鎮信流茶道の歴史と思想についても研究を進めている。

毛利嘉孝 (東京芸術大学教授)
「ストリートの表現者たち」
 1963年生。社会学者。専門はメディア/文化研究。特に現代美術や音楽、メディアなど現代文化と都市空間の編成や社会運動をテーマに批評活動を行う。主著に『ストリートの思想』、『ポピュラー音楽と資本主義』など。

オレクトロニカ (美術ユニット/加藤亮+児玉順平)
「日常にアートを探る」
 「制作と生活」をテーマに活動を展開。展覧会のみならず、空間デザインやギャラリー・アートプロジェクトの運営などを行う。多種多様に变化していく様々なすき間を埋めるため、表現の手法にとらわれず活動する。



※車両の入構の際は200円かかります

駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

申込方法
 Webサイトにてお申し込みください。
<https://sma.art.saga-u.ac.jp>
 ※日時・内容が変更になる場合がございます。
 ※本アカデミーの活動の記録は、Webサイトや報告書などで公開されますのでご了承ください。
 ※いただいた個人情報は本講座に関するご連絡にのみ使用いたします。
 ※講座は、佐賀大学の学生が教育の一環として聴講することがあります。
最新の情報は、Webサイトでご確認ください。

[お問合せ先]
 佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート事務局(佐賀大学 芸術地域デザイン学部総務内)
 〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 電話:0952-28-8309(平日9時~16時)